

ものおの／＼とところありの説

佐佐木宗尚

「書意がえしあうて送す」
りか。送す。届けらる。たりに。何の理由あり
るのたう。一徳目を通すと。理由らう。いも
のて完は一也。恩地孝四郎氏の「工分結玉」
かえらう。い。

文に曰、書意の空は倍字か。い。正字と使
へ。い。お。叱。く。不。大。分。あ。う。た。空の正字は日

常生性。は完全な他没しん。あ。そ。と。や。を
少。用。ふ。は。馬。書。か。へ。あ。中。田。各。用。の。た。め
の。字。で。字。の。あ。つ。た。あ。の。用。は。ち。い。云。い。
僕。も。意。は。あ。の。方。の。あ。ら。い。と。云。つ。て。一。人。で
ま。る。か。い。は。は。書。と。思。つ。た。ら。い。あ。ま。

僕と僕、日常、意と書く時は意と書さ、
決して「~~意~~」字を書きけし。あ。書。り。了。も。正。字。在
に沈没しん。あ。の。活。字。が。あ。り。あ。ま。あ。ま。あ。ま
た。不。柿。は。あ。ま。あ。ま。と。川。下。濡。櫓。と。ぬ。れ。た。る
き。一。意。本。と。意。地。の。要。い。了。の。は。云。は。あ。り。活。字